2023年度

外遊びを通じて子どもと関わる

「怒られる」 早く帰らなきゃ」

子どもは生きづらさの中にいる。管理のための言葉に縛られ、

そもそも子どもが生きるとはどういうことか。

自由であるとはどういうことか。 子どもがのびのびと、生き生きと

対象

聞こえてくる子どもの悲鳴に向き合い

社会へと訴える。

子どもの遊びを最大の価値に据え、プレーワーカーは、

どなたでも参加できます。行政職員、議員、 保護者など、子どもの外遊びに興味がある方。

定員

各回30名

受講料

3,000円 (単日)

子どもが解き放たれる場である。大人からの束縛と社会全体からプレーパークは、

日程

1日目

9月1日(金)または 9月3日(日)

時間: 10:00~14:30

場所:みやぎNPOプラザ(宮城野区榴ヶ岡5)

2日目

9月15日(金)または 9月17日(日)

時間: 10:00~14:30 場所:みやぎNPOプラザ 申込締切 8月20日(日)

こども家庭庁は、県市町村を実施主体とした「NPO等と連携したこどもの居場所づくりの支援モデル事業」をはじめました。 その対象事業には「屋外においてこどもたちが自由に遊べるプレーパーク(冒険遊び場)の実施」があります。

プレーワーカーズは、プレーパーク等で外遊びを通じて子どもと関わる活動を始めたい、知識を深めたい方向けに、 養成講座を行います。その一部をどなたでも参加できる公開講座としました。

あなたも、地域の、社会の子どものために学んでみませんか。

* P. F. T

Playworkers





◆申込方法

Peatixフォームから申し込みください。





お問合せ:廣川和紀 090-6459-5225 info@playworkers.org 主催:一般社団法人プレーワーカーズ

協力:認定NPO法人冒険あそび場-せんだい・みやぎネットワーク

助成:公益財団法人 東日本大震災復興支援財団

「子どもサポート基金」事業

1日目【子どもが遊ぶ場に大人がいる意味】

9/1(金)または9/3(日) みやぎNPOプラザ・第1・2会議室

テーマ	内容	講師
プレーパークとは何か	「プレーパークとは大人たちへのメッセージである」 プレーパークの事物、例えば手作り遊具、キャンプ、子ども商店街、被災地支援などに 込められたメッセージを考える。	ぶんちゃ
子どもと遊びの社会環境	「やっぱり遊んでいない僕ら」 親世代の私たち大人は、"遊ぶ"ことの真相を知っているのか。知らないとどうなるのか。遊びの伝承ができない社会環境を問う。	かずき
プレーパークにいる大人の役割	プレーパークにはどんな大人がいるのか、何をしているのか。プレーワーカー、世話人、 ボランティア、保護者、通りすがりの人など、その役割について考える。	ぶんちゃ

2日目【子どもが遊ぶ場でプレーワーカーが考えていること】

9/15(金)または9/17(日) みやぎNPOプラザ・第1会議室

プレーワーカーの姿勢	「子どもより弱く、大人より強く」 子どもにとっての立ち位置、大人にとっての立ち位置をどこにとるのか。 いつもプレーパークにいるプレーワーカーの姿勢を知る。	ぶんちゃ
プレーワーカーのスキル	「子どもと距離感とリフレクション」 「大人へ子どもの声を代弁するための言葉について」	かずき
環境設定	「作られた遊び場は本当に遊び場か?」 作り続けられる遊び場=プレーパーク。そこには完成形がない。 それはなぜなのかを考える。	ぶんちゃ

講師紹介



須永力(ぶんちゃ)

一般社団法人プレーワーカーズ代表理事。33年以上の経験をもつ日本で最も古株のプレーワーカー。世田谷のプレーパークで遊び場とプレーワーカーの存在意義を知る。阪神淡路大震災・神戸市長田区、静岡県富士山こどもの国、仙台市海岸公園冒険広場、東日本大震災では岩手・宮城・福島と全国各地の遊び場づくりを支えてきた。



廣川和紀(かずき)

一般社団法人プレーワーカーズ事務局長。16歳の頃から子どもに関わる市民活動を始め、大学卒業後は遊具メーカーで 働きながらプレーパークの活動も行ってきた。東日本大震災後プレーワーカーとして働き始め、現在は県内外のプレー ワークやプレーリーダー研修の講師を務める。





◆お申込みはこちら



Peatixフォームから 申し込みください。



お問合せ:廣川和紀 090-6459-5225

info@playworkers.org - 粋井団注 レプレーローカー

主催:一般社団法人プレーワーカーズ HP:http://playworkers.org/

